【2024年３月 月間予定表 ―椥辻北校― 】 ◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

3月の予定		
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	**『公立中期直前特訓』**（中３生対象 in 東野校）
6	水	新年度開講
7	木	**公立中期入試**　休校日
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	休校日
15	金	
16	土	休校日（全校舎、教室を閉めております）
17	日	
18	月	**公立中期合格発表**
19	火	
20	水	
21	木	休校日
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	● 『**春期講習**』開始
26	火	●
27	水	●
28	木	●
29	金	●
30	土	●
31	日	

※諸事情により予定を一部変更する場合があります。

【１月度のMVP】

●新中１　M・Y　さん
●新中１　S・Y　くん
●新中１　H・S　くん
●新中２　O・K　さん
●新中３　M・K　さん

１月実施の学力診断テストにおいて、
成績優秀者として見事ランクイン！！

３月行事について

●春期講習・・・

旧学年と新学年をつなぐ重要な講習です。短期間といえども気は抜けません。

【 耳の日に 】

保護者の皆様、いつもお世話になっております。
３月３日といえば桃の節句。
でも、あまり知られていませんが、「耳の日」という記念日でもあります。

まだ世の中に電話がなかった 1876 年。
グラハム・ベルは研究室の３階と地下室の間に電線を引き、研究を重ねていました。
５年間失敗が続いていた、そんなある日のことです。
ベルは薬品の缶をひっくり返してしまい、大声で助手を呼びました。
「ワトソンくん、すぐ来てくれたまえ！」
ベルは助手が同じ３階にいると思ったのです。
と、その時、助手のワトソンが地下からかけ登ってきました。
「聞こえた！聞こえた！聞こえた!」
ワトソンはちょうどその時、地下室で受話器を耳にあてていて、電線を通して ３ 階から声が伝わったのです。
これが、世界で初めて電話機が生まれた瞬間でした。
父親が発声の研究をしており、その影響を受け、彼は不自由な人のために情熱を注ぎました。またベルの妻は難聴だったそうです。ベルは聞こえることの喜びを誰よりも感じていたのです。その流れで自然に彼は電話の研究を始めることになります。

ベルはある時、ひとりの少女に出会います。
少女は聴力と視力を失い話すこともできず、三重苦を抱えていました。
「神様が一つだけ願いを叶えてくれるなら、何をお願いしますか？」
ベルがそうたずねると、少女は即答しました。
「聞こえるようになりたい！」
少女の名は、ヘレン・ケラー。

３月３日は、ヘレンにとっても大切な日でした。
ベルが、ヘレンとあのサリヴァン先生を引き合わせたのも３月３日なのです。
サリヴァンはその後、50 年にわたってヘレンを支え、ふたりのエピソードは、「奇跡の人」というタイトルで、舞台化、後に映画化されました。
「聞こえるようになりたい」と願ったヘレン、
そしてどんなに離れていても、「声がきこえるようにしたい」と願ったベル。
きっと、ふたりの声を、神さまはちゃんと聞いていたんです。

人生って何かを失うと、その分だけ何かを得るようです。
減った分だけ、また溜まるんです。
不自由な体になると気付きます。
当たり前に自由だった毎日が、本当に恵まれていたんだと。
今までできたことが、できなくなるんですもんね。
でも、その代わりに、助けてくれる人も必ず現れます。自分に足りないところを補ってくれる誰かが必ず現れます。

「自分ひとりで何でもできる！」それこそが一人前のように思えますが、
そうではありません。自分ひとりでは何もできません。
自分が何かをできるのは、まわりの人のおかげだと
気付けることが、一人前の証なのです。
人は成人を迎えるまでに、約 200 万人もの人のお世話になっているそう。
食べ物だけでも、田んぼや畑を耕す人、肥料をつくる人、運ぶ人、売る人、そして調理する人･･･。
料理を口にするまでに数えきれないほどの人の力が加わっています。
その人数を全部足していくと、200 万人にもなるのだとか。
その誰が欠けてもいまの生活はできません。
真の一流とは、えらい人でもなく、すごい人でもなく、感謝できる人なんです。

ヒマラヤには、8000m もの山脈を越えて飛ぶ鶴がいます。
8000m もの山を越えるのは、力では不可能です。むしろ力を使わない。
鶴は上昇気流を利用して、風に乗って山を越えるのです。

本当の意味で成功するということは、
まわりにたくさんの味方をつくって
応援されて生きていくということなのですね。

塾長　山田　大介